

都市再生整備計画

なかのじょうえきしゅうへん
中之条駅周辺地区

ぐんまけん なかのじょうまち
群馬県 中之条町

平成23年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	なかのじょうまち 中之条町	地区名	なかのじょうまきしゅうへん 中之条駅周辺地区	面積	15 ha
計画期間	平成	23	年度	～	平成	26	年度
				交付期間	平成	23	年度
					～	平成	26
							年度

目標

- 『高齢者と子供達がふれあう 地域文化とツーリズムによる 駅エリアの再生』
- 目標1: 高齢者と子供との交流を推進しながら、世代間の絆と地域文化が継承できるまちづくり
 - 目標2: 交通弱者である高齢者や子供が集うことで、交通要点である駅を中心とした活性化を図る
 - 目標3: 地域文化の継承とツーリズムが融合したエリアの回遊利便性を向上するため、安全で快適な環境をつくる

目標設定の根拠

- まちづくりの経緯及び現況
- ・中之条町の北部は、三国山系の高峰を望む奥行きのある自然に抱かれた上信越高原国立公園に指定され、四万・沢渡温泉郷に代表される観光資源に恵まれ、年間40万人の観光宿泊客が訪れている。
 - ・また、町の南部は古くから中之条・伊勢町地区を中心に市街地が形成され、吾妻地域における政治、経済、文化、交通の中心として発展してきた町である。
 - ・平成22年3月には、隣接していた六合村との合併で県内4番目の面積となり、豊富な自然環境や観光資源を活かしたまちづくりに取り組んでいます。
 - ・当町の玄関口となるJR吾妻線中之条駅周辺地区は、今までの基幹産業が商工業であったため、同じ町内であっても四万・沢渡温泉地区との産業連携が殆どないまま経過してきた。
 - ・近年、店主の高齢化や後継者不足に加え、外部資本の大型店舗の進出や駅南の国道353号バイパス沿道への商業施設の新設等により、旧来商店街の疲弊・空洞化が顕著である。
 - ・平成18～22年度にかけて、「まちづくり交付金事業」の補助を受け、中心市街地である「中之条・伊勢町地区」の活性化に向けた観光交流施設の整備等により、来街観光客数の増加などに一定の成果が得られました。
 - ・しかし、今後更に進行する高齢化社会に向けて、高齢者をはじめとするすべての人に優しいバリアフリー化は、国道以外では未だ進んでいない状況である。
 - ・また、平成19年より開催されている芸術祭(中之条ピエンナーレ)や中之条観光ガイドボランティアによる観光案内等により、地域住民と来訪者との交流やふれあいが盛んに行われている。
 - ・平成23年に開催される群馬デスティネーション・キャンペーンに向けて、現在駅北側の駅前広場を整備中であり、観光PRに対する機運が益々盛り上がりつつある。

課題

- ・商業意欲の低下と共に賑わいが減少している当地区では、地域住民による世代間交流の促進を図りながら、歴史や文化を継承できる商店街の活性化が必要である。
- ・当地区には観光客や地域の人々が集い滞留できる場所が少なく、まちなか観光や地域交流の拠点としての新たな魅力づくりが必要である。
- ・当地区の裏道となる町道は、狭い上に段差も多くあり、観光客の回遊利便性の向上や地域住民の安全性に配慮した環境整備が急務である。
- ・観光客の玄関口である当地区では、自然環境との共生や旧来からの街並みに配慮した総合的な景観整備が必要である。

将来ビジョン(中長期)

- ①中之条町第五次総合計画では、“ふるさとに会えるまちなかのじょう”を基本方針として、地域経済の活性化に向けた、豊かで活力あるまちづくりを図るとしています。
 - ②中之条町都市計画マスタープランでは、「自然の懐の中で、人が集い、快適に住まうまち」を将来像として掲げています。
- 当地区の将来目標では、町の玄関口として旧三国街道の脇往還の風格と魅力を感じる商店街や地域文化拠点を中心とした、歴史と文化のまちづくりを目指す地区と位置づけられています。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 世代間交流回数	回/年	世代間で行われる年間の交流回数	世代間の絆と地域文化を継承できるまちづくりが推進した現れとして、地域の高齢者と子供達による世代間交流の増加を目指す	14	平成22年度	24	平成26年度
2. イベント参加人数	人/年	駅前で開催するイベントへ参加する年間的人数	交通要点である駅を中心とした活性化が図れた現れとして、駅前で開催するイベントへの参加人数の増加を目指す	136	平成22年度	300	平成26年度
3. 観光ガイドによる案内人数	人/年	観光ガイドが駅周辺を案内する年間的人数	地域文化の継承とツーリズムが融合したエリアの回遊利便性が向上した現れとして、観光ガイドによる案内人数の増加を目指す	510	平成21年度	600	平成26年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(高齢者と子供との交流を推進しながら、世代間の絆と地域文化が継承できるまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺で地域の高齢者と子供が交流するために、屋内広場を併設した世代間交流センターの整備を行う。 	<p>基幹事業:高次都市施設(世代間交流センター)</p>
<p>整備方針2(交通弱者である高齢者や子供が集うことで、交通要点である駅を中心とした活性化を図る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や来訪者が集い滞留したくなるような、居心地の良い広場の整備を行う。 ・今までなかった駅前広場の魅力を創出するために、新たなイベントを定期的で開催する。 ・駅周辺の商店街が賑わうために、空き店舗の改修やチャレンジショップの支援を行う。 	<p>基幹事業:地域生活基盤施設(陽だまり広場整備) 提案事業:新規イベントの開催(中之条駅前広場) 提案事業:空き店舗改修工事(中之条駅周辺) :チャレンジショップ支援事業(中之条駅周辺)</p>
<p>整備方針3(地域文化の継承とツーリズムが融合したエリアの回遊利便性を向上するため、安全で快適な環境をつくる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の安全で快適な環境づくりのために、裏道町道の側溝整備や観光案内板の設置等を行う。 	<p>基幹事業:道路(町道 竜ヶ鼻長岡線ほか2路線 側溝整備) 基幹事業:高質空間形成施設(町道 竜ヶ鼻長岡線ほか2路線観光案内板設置等)</p>
<p>その他</p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくりの展開 当地区には、平成15年設立の観光ガイドボランティア組織があり、今後も様々な連携を図りながら継続的なまちづくりを推進していく。</p> <p>○街並み景観形成の誘導を図る方策として 平成23年1月に施行される景観条例に基づき、駅前広場や国道145号沿道の美しい街並み景観づくりを誘導していく。 そのための方策として、本事業で今回実施予定の空き店舗改修事業では、旧来からのまちなみ景観に配慮しながら、先導的なモデル建築物となるよう、地区住民や商店会関係者等の参加による検討をしていきたい。</p> <p>○交付期間中の計画の管理について 交付期間中の各種事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果を上げるために、事業の成果や進め方等の協議結果を随時町民に周知します。</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	350	交付限度額	140	国費率	0.4
---------	-----	-------	-----	-----	-----

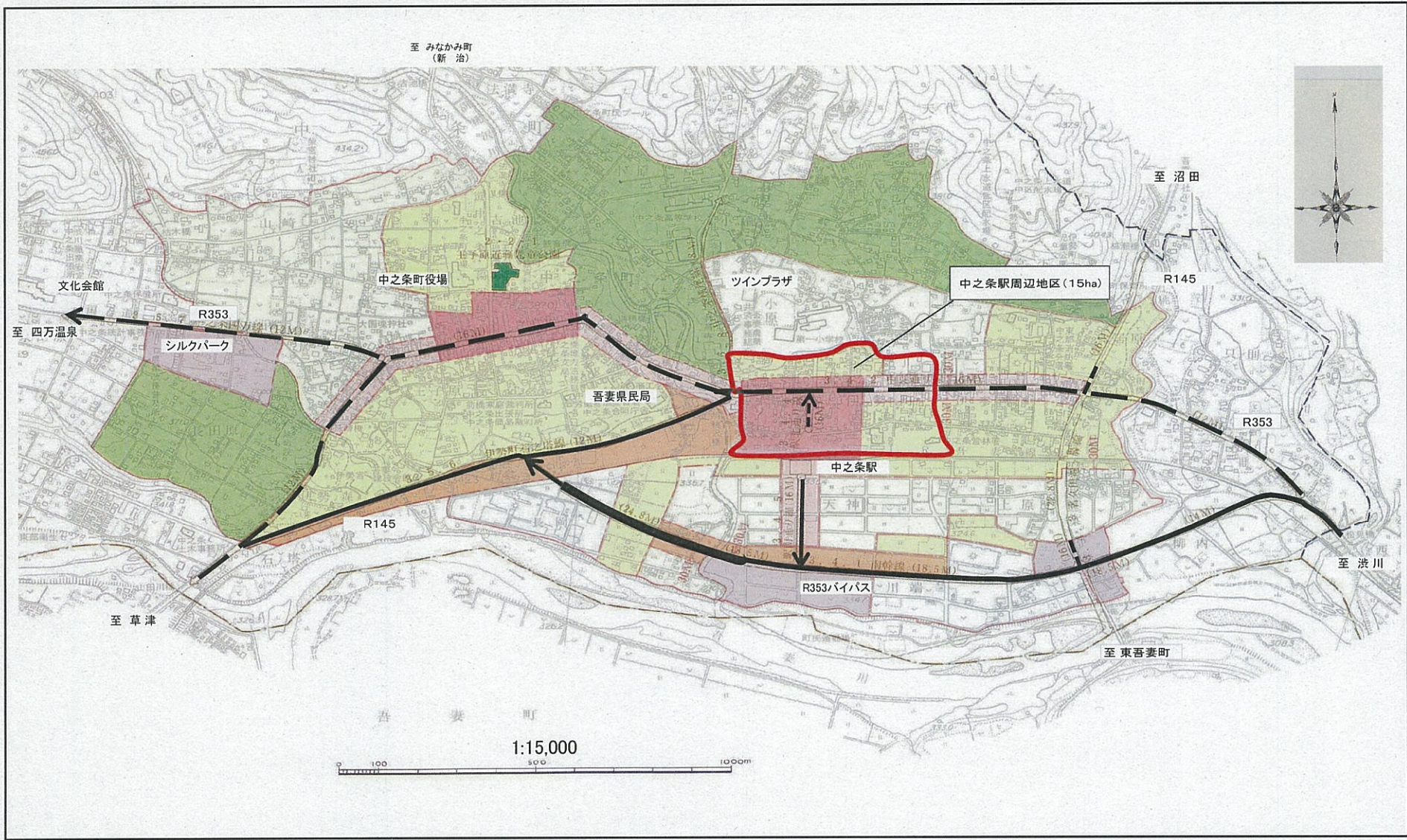
(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
道路		町道 竜ヶ鼻長岡線	中之条町	直	延長100m	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	6	6	6	6	
		町道 二十三夜線	中之条町	直	延長105m	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	6	6	6	6	
		町道 伊勢町土場線	中之条町	直	延長 80m	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	5	5	5	5	
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	広場整備	陽だまり広場	中之条町	直	面積1,175㎡	平成23年度	平成26年度	平成23年度	平成26年度	88	88	88	88	
高質空間形成施設	緑化施設等	町道 竜ヶ鼻長岡線	中之条町	直	延長100m	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	3	3	3	3	
	緑化施設等	町道 二十三夜線	中之条町	直	延長105m	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	3	3	3	3	
	緑化施設等	町道 伊勢町土場線	中之条町	直	延長 80m	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	2	2	2	2	
高次都市施設	地域交流センター	世代間交流センター	中之条町	直	延床計1,820㎡	平成23年度	平成26年度	平成23年度	平成26年度	225	225	225	225	
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										338	338	338	0	338
提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
地域創造支援事業	新規イベントの開催	中之条駅前広場	中之条町	直	年間4回	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	4	4	4	4	
	空き店舗改修工事	中之条駅周辺	中之条町	直	延床45㎡	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	4	4	4	4	
	チャレンジショップ支援事業	中之条駅周辺	中之条町	直	1店舗	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	4	4	4	4	
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業													0	
合計										12	12	12	0	12
													合計(A+B)	350

(参考)関連事業

都市再生整備計画の区域

なかのじょう えきしゅうへん ちく 中之条駅周辺地区(群馬県中之条町)	面積	15 ha	区域 大字伊勢町字小原、伊参の一部
-----------------------------------------------	----	-------	-------------------



中之条駅周辺地区(群馬県中之条町) 整備方針概要図

目標	『高齢者と子供達がふれあう 地域文化とツーリズムによる 駅エリアの再生』	代表的な指標	世代間交流回数 (回)	14 (H22年度) → 24 (H26年度)
	目標1: 高齢者と子供との交流を推進しながら、世代間の絆と地域文化が継承できるまちづくり		イベント参加人数 (人)	136 (H22年度) → 300 (H26年度)
	目標2: 交通弱者である高齢者や子供が集うことで、交通要点である駅を中心とした活性化を図る 目標3: 地域文化の継承とツーリズムが融合したエリアの回遊利便性を向上するため、安全で快適な環境をつくる		観光ガイドによる案内人数 (人)	510 (H22年度) → 600 (H26年度)

